普及活動情勢報告（平成２８年２月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

選りすぐられた土佐文旦がズラリ!!
～第１６回ＪＡとさし柑橘果実展示品評会開催される～

外観をチェックする審査員

第１６回ＪＡとさし柑橘果実展示品評会が１月２８日にＪＡとさし「みのり館」で開催されました。

土佐文旦５１点、不知火４点、八朔２点、ポンカン１点の計５８点と、昨年より多くの出品がありました。

農業改良普及課は、審査員の一員として、果実外観や品質について審査基準に則り、厳格に審査しました。

今年の土佐文旦の特徴は、糖と酸のバランスが良く、肉質は多汁で、食味が良い傾向でした。

審査の結果、知事賞には、青木真弓さんの土佐文旦が選ばれました。

環境制御技術講演会の開催
～やれる事から始めよう～

熱心に講演を聴く参加者

農業改良普及課では、１月２９日土佐市新居コミュニティーセンターにおいて、施設園芸資材メーカーから講師を招き、環境制御技術講演会を開催しました。計８０名(うち生産者４６名)が参加し、午前、午後２部制の講演会にもかかわらず両方に出席した生産者もおり、関心の高さが伺えました。参加した生産者からは、「曇雨天時には炭酸ガス濃度を高めた方が良いのか」、「内張りを開けられないときは炭酸ガス濃度を高めた方が良いのか」など具体的な質問がなされ、初めて聞いた生産者には植物生理とハウス環境を考え直すきっかけとなったようでした。

農業改良普及課では今後も関係機関と連携し、中央西地区の環境制御技術研究会の活動を支援し、環境制御技術の普及推進に取り組みます。

そばのおやつ開発中
～６次産業化支援チーム（柳野）の取り組み～

アドバイザーを交えて検討中

農業改良普及課は、いの町吾北地区の柳野生活改善グループや関係機関と６次産業化支援チームを作り、新たな商品開発を支援しています。

２月２日、柳野地区の新そばとこんにゃく祭りにおいて、地元産のそばを活用した開発中の加工品（そばおやき、そばまんじゅう）のモニター調査を行いました。イベント当日には、運営・試食・試販をグループ員が行い、試食・試販のアンケート調査については農業改良普及課が行いました。好みは分かれるものの、食味については、一定の評価があり、今後の商品化が期待されました。

農業改良普及課は、今後、アンケート結果の分析を行い、商品の改良や、販売店舗の検討などの取り組みにつなげていきます。

土佐市岩戸地区の農業・農村を守ります
～土佐岩戸米営農組合設立総会～

今後の岩戸地区を担うメンバー

２月１９日、土佐市岩戸公会堂において、「土佐岩戸米営農組合」の設立総会が開催され、土佐市第１号の集落営農組織が設立されました。

「土佐岩戸米営農組合」は良食味で知られる“岩戸米”の生産者を中心に設立され、一層の品質向上や販売促進の取り組み等多様な活動を検討しています。これまで支援を行ってきたＪＡ・市・農業改良普及課では、岩戸地区の農業・農村の維持発展を担う組織として位置付けており、地域の農家からも、地域のために集落営農組織ができたことは心強いとの期待が寄せられました。

農業改良普及課は、今後、組織のステップアップに向け継続的な支援を行います。